



園だより

文京区立第一幼稚園
令和6年度1月号

URL <http://www.bunkyo-tky.ed.jp/dai1-kg/>

成長し続ける子供たちを見守って

園長 田村 秀子

新年 おめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いたします。今年は多くの地域で天気の良い、穏やかなお正月でした。ご家族で楽しく過ごされたことと思います。終業式の時に「お正月の挨拶を知っていますか？」と聞くと、少しの間した後で「おめでとう！かな」「あけましておめでとう、だよね」など、気付いた子が大勢いました。降園する時は「よいお年を！」で別れた子供たちですが、お正月にご家族や親せき、近隣の方々や気持ちよい挨拶ができていたら嬉しく思います。6日の朝は庭門の外の道路や土の庭に最後の落ち葉がたくさん積もっていたので、先生たちや主事さんたちが皆きれいに掃除をし、お正月の花を飾って、子供たちを迎える準備をしました。

さて、今年はへび年です。干支としては「乙巳^{きのとみ}」という年にあたります。「乙」は十干の2番目で「軋む」を意味し、植物が生長し広がっていくような意味合いだそうです。柔軟性や協調性を象徴し、周囲との調和を保ちながら自身の目標に向かって進んでいく力を表しています。「巳」は十二支の6番目で「蛇」を表しています。蛇は脱皮を繰り返すので、医療や再生のシンボルであり、運氣を上げる縁起物です。「乙」と「巳」の組み合わせは、これまでの努力や準備が実を結び始める時期を示し、すぐに結果が出なくても焦らず、粘り強く、自分のペースで着実に前進することで、望む結果に近づくことができるそうです。蛇はちょっと怖いイメージがありますが、私は若い頃、園の移動動物園に蛇が来て、飼育員さんに首に巻かせてもらったところ、思ったよりすべすべして冷たさが心地よく、意外と好きになりました。蛇の粘り強いところ、じっと様子をうかがう賢いところ、脱皮しながら生長し続けるところなど、見習いたい点もあります。

変化の激しい時代ですが、子供たちも困難にめげず、粘り強く様々なことに取り組んで、自分の殻を脱ぎ、新しい自分を見つけて成長し続けてほしいと思います。



新年を迎えた保育室を回ると、年長児の作った「かるた」が飾ってありました。自分で好きな文字を選び、思い付いた絵を描き、言葉を考え、文字を書いて作ったそうです。少し紹介すると・・・

- ・どんぐりで こまがつくれて たのしいな
- ・うさぎ ぴよんぴよん かわいいな
- ・めろん たべたら やさしい きもち
- ・ゆきがふって スキーをしたいな
- ・ぬれたようふく せんたくしたら ちょっとすっきり

その子が好きなものや生活の中で感じていることなど、その子なりの感性が表れていて素敵です。これから互いの作ったかるたを認め合い、楽しく遊ぶことでしょう。こままわし、羽根つき、たこあげなど日本の伝統的なお正月遊びを楽しむ姿も見られると思います。子供たちが様々なものやこと、人と出会い、感性豊かに関わったり、いいなと思ったものを自分の遊びに取り入れたりしていく姿を大切に、支えていきます。保護者・地域の皆様にも子供たちの遊びや学びの姿をお伝えすることで、成長し続ける子供たちの姿を共に見守っていただけたらと思います。よろしくお願いたします。